

陽光学院 ☎044-433-2553
川崎市中原区木月 2-2-28
<http://www.yokogakuuin.co.jp/>

陽光通信

平成 22 年 7 月号

Fax : 044-411-5675
緊急連絡先 ☎090-4126-4352

「黄色いシューズと100冊のノート」

今、一足のシューズがかなりの注目を集めている。

とくに中学生、高校生にはすごい人気で、品薄の状態が続いているらしい。

そのシューズはミズノ製で色は黄色、そしてサッカー用…。

そう、ワールドカップで活躍した本田選手の履いていたシューズだ。

デンマーク戦での魔法のようなあのフリーキック。

「あの靴は何？！」「自分もあんなシュートを打ちたい！」

そんなわけで、この黄色いシューズはどんどん売れているんだって。

もちろん、あこがれの選手と同じシューズが欲しいって気持ちはわかる。

サッカーをやっていたのがずいぶん昔のボクだって、

あの黄色いシューズを履いてボールを蹴ってみたいって思ったもんね。

けど、ほんとに彼のようになりたいんだったら、その前にやらなきゃいけないことがある。

本田選手の今の活躍を支えているもの、それは「100冊のノート」だ。

彼は練習ノートを毎日欠かさずつけている。

それも小学6年生のころからずっとだよ。

練習メニューや反省点、サッカーの技術のこと、試合相手の分析…。

練習や試合のあと、つかれきった体で書き続けた1ページ、1ページには、

彼のサッカーにかける思いのすべてが込められているに違いない。

そうやってコツコツ書き始めたノートが、今では100冊をこえているという。

黄色いシューズを手にいれただけじゃ、魔法のようなシュートは打てやしない。

日々の厳しい練習と100冊のノート。

そんな気が遠くなるほどの努力を積み上げていった結果、今の本田選手がある。

もし本気で彼のようになりたいのであれば、100冊のノートにも挑戦すべきだ。

…それでも、実際は黄色いシューズを履くだけで満足しちゃう子が多いんだろうな。

シューズを変えるのは簡単だけど、ノートを書き続けるのはとっても大変だからね。

勉強でも、自分を簡単に変えてくれそうなものを一つつい探してしまう子がいる。

「もっといい参考書はないか」

「もっと自分に合ったやり方があるんじゃないかな」

…こんなふうにね。

でも、どんなにいい物をそろえて、いいやり方を知っても、それだけじゃ何の意味もない。

自分ががんばらなきゃ、なんにも変わらない。

まずは目の前のこと一つひとつを全力でがんばること。

すべてはそこから始まるんだ。（菅野）

[4年生]『算数・理科について』

算数では、予習シリーズ4年上の各単元をじっくり総復習する予定でいます。6月から新入生も加わりました。算数では「和差算、植木算」など、新入生にとっては初めて見る問題です。基礎を中心にお伝えしますが、基礎といつてもそれぞれの問題の難度は、今まで小学校で習ってきたものとくらべるとはるかに高いものになっています。講習で学習する内容は1学期の復習ではありますが、新出単元のつもりで説明していきます。これまでに習った単元はこの講習中にしっかりと身に付けましょう。理科は、講習の前半で、シリーズ4年上を終わらせる予定でいます。後半では、ポイントチェックを覚えさせながら、1学期の総復習を行う予定でいます。（山崎）

[5年生]『家庭学習について』

ご家庭での学習時間や学習状況の確認をお願い致します。勉強はいくつかのステップがあります。

「①未習分野を教わり理解する→②問題演習で試す→③分からない問題をもう一度教わる」

生徒を指導していく一番難しいのが③番です。どこまで理解しているのか。何がイメージできずに解けないのか。ねばり強く対峙してもできない問題なのか、あるいは途中でイヤになり放棄してしまったのか。状況を把握してこそ良い指導ができます。一人ひとり、一問一問アドバイスやヒントは違います。自分の頭を使わぬいですむような教え方だとお子様の学力向上には結びつきません。家庭学習で大切なことは問題をたくさん正解することや「わかった」と返事をすることではなく、粘り強くコツコツと勉強する習慣です。家庭学習については面談で詳しくお話をさせて頂きます。（池田）

[6年生]『算数について』

6月末で、予習シリーズ6年上が終了しました。これで、入試頻出単元の学習を一通りやり終えたことになります。これから学習する勉強はすべて今までに習ってきたことの復習です。出題された問題の中でもまったく手が付けられないものはないはずです。前に見たことがある、解いたことがあるという記憶が頭の片隅に必ず残っているはずです。だからといって解けるとは限りません。解けなければ解説をしっかりと頭の中に刻み込み、次に類題が出てきたときに必ず解けるようにする準備をしっかりと行いましょう。

今まで解説を聞いて分かったからそれで安心していたものを、自力で解けるようになるまで努力してもらいます。「あおぼん問題」や「入試東計算ディリー」、「ピンクの総復習問題」など、自宅学習用の教材の進行状況はいかがでしょうか。火曜日、木曜日、日曜日の授業のない日に時間を作り解き続けているでしょうか。「あおぼん」は入試頻出単元の即答すべきレベルの問題集です。入試問題を解く上で土台となるものです。何度も繰り返し解きましょう。「ディリー」も入試頻出の計算問題集です。この2冊は即答できるまで時間を気にせず何度もやりましょう。（山崎）

« 1 » 学力診断 ウィーク(中学部)

期間… 7／12(月)～16(金)

これまで学力診断テストでは、学校のテストでは分からぬその子の本当の実力=得点力を測ってきました。そして見えてきた弱点や復習すべき単元を、ときには個別で、時にはクラスで教えてきました。今回、この学力診断テストをより効果的に実施するため、7月の第3週を学力診断 ウィークとすることにしました。ポイントは「テスト→すぐ解説」です。テストの解説をしてもっとも効果があがるのはテスト直後です。「どこが分からなかつたのか」「なぜその選択肢を選んだのか」などの記憶がテストから時間が経てば経つほど薄れていくからです。そこで学力診断 ウィークでは解いた記憶が新鮮なうちに解説を実施いたします。期間中、曜日や授業の開始・終了時間に変更はありませんが、時間割が多少変則的になります。くわしい時間割は子供達に配布いたします。

« 2 » コンクール(小学部)

実施日： 7／12(月)～16(金)

覚えるものが中心のテストです。国語、算数、理科、社会の全教科で行います(選択者は英語も)。すべての教科で2週間前にはテスト範囲のプリントを事前に配ります。塾の授業だけではおそらく時間が足りないと思います。ご家庭でも練習してくださいね。優秀者は通信にて発表します。※詳しい範囲や実施の日程は子供達に配布します。

« 3 » 夏期講習スタート！

今年の夏期講習の日程が決定しました。同封の『夏期講習案内』をご覧ください。夏期講習ほど連続して、そして集中して勉強できる期間は他にありません。ここでのがんばりが9月以降の成績にはつきります。特に受験生は夏にどれだけがんばったかで、受験できる学校や合格の可能性が大きく変わります。最高の夏休みになるようがんばりましょうね。※講習は年間カリキュラムの中に組み込まれていますので、原則全員参加ということでお願いします。

※ヘリオスの小5生、小6生は前半と後半、都合のよいクラスを選択できます。同封の『夏期講習案内』中の「**夏期日程選択 調査書**」に希望される日程をご記入のうえ7／14(水)までに受付までご提出ください。

ヘリオス 中学部の個人面談について

例年、夏休み期間中に実施していた中学部の個人面談ですが、今年は10月の半ばに実施することにいたします。夏休み前に学校の成績が出ない中学校もあるためです。テストの結果と成績がそろった状態で面談させていただいたほうが、よりよいアドバイスや具体的なお話ができます。もちろん例年通り夏休み中の面談も可能です。ご希望される方は菅野までご連絡ください。(044-433-2553)

※小学部の個人面談は例年通り9月末から実施します。

[算数の勉強について]

6月は毎日1枚ずつの計算練習の宿題を2人ともがんばってやってきました。7月は2回目の計算コンクールがありますのでコンクール練習+前週までの宿題の残りもしっかりやって、前回よりも良い点数を取ることができるようにがんばりましょう。

授業ではわり算に続き円、球の勉強もしていきましたが、2人とも積極的に手をあげて答えてくれました。7月は長さと三角形の勉強も進めていきます。(奥)

[国語の勉強について]

授業ではテキストの勉強だけでなく、指定した言葉を使った短文作りや音読テストなどを行っています。語彙力をつけることや読み飛ばしを直していくためです。読解力の向上に結びつくような楽しい学習もまじえながら授業を進めています。夏休みの家庭学習のためにも7月は一人で勉強する時間を増やしてほしいと思います。漢字の宿題やコンクールの勉強は自学自習の習慣をつける機会になります。食卓やリビングでの勉強でもかまいませんよ。(池田)

※7/15(木)に漢字と計算のコンクールを実施します。練習用のプリントもお配りします。

今月の本棚

『神奈川県高校受験案内(ハイスクールガイダンス)』(声の教育社 1,995円)



～内容紹介～

神奈川県内の公立高校と私立高校を全て紹介しています。他に東京都など近県私立や国立も掲載。表やグラフ、写真が多く、ビジュアルで分かりやすいページ構成です。「大学合格実績」「指定校推薦」「部活動活動状況」「併願例」など、巻末には受験にかかる貴重なデータもまとめられています。学校選びに役立つ内容がふんだんに盛り込まれている受験情報ガイドです。(7月発売予定。画像は昨年版です)

そろそろ今年度の受験案内が書店に並び始めています。例年、学研や晶文社、市進出版、声の教育社などいくつもの出版社から発行されている受験案内。そのなかで私のおすすめは声の教育社の「神奈川県高校受験案内」です。

声の教育社版の特長は、とにかく情報量が多く、そして読みやすいということです。各高校の偏差値一覧表はもとより、「前期選抜・後期選抜の仕組み」や、「高校別大学合格者一覧」、「公立私立併願受験例」、さらに「部活動活動状況一覧」まであります。もちろん各高校のページも充実しており、校舎や授業風景の写真も多く載っています。県内の全公立高校をこれだけの情報量で網羅している受験案内は他にありません(普通科以外の学科がほとんどのっていない受験案内もあるのです…).ここで用いられているデータは、県内13,500人の中学3年生が受験する「全県模試」のものです。膨大なデータとリンクしているので信頼度も高く、特に公立受験を考える際の参考資料としてはベストに近いといえます。

受験案内をご家庭のリビングなどに置いておくと、自然と子供も手にとって眺めるようになります。すると、なんとなくでも受験を意識するようになります。中3はもちろん、その下の子にも、早いうちから受験案内を見せるることは絶対にプラスになります。受験をひかえた中学生には値段以上の価値がある一冊、おすすめです。(菅野)

学校紹介

○私立中学校

青稜中学校（東京都品川区 男女共学 東急大井町線 下神明 下車徒歩1分）

昭和13年、青蘭商業女学校として開校、平成7年より青稜に校名を改め、女子校から共学の中高一貫の進学校として改革を進めています。教育目標には「主体的に生きる“個”的確立」を掲げています。

授業は週6日制。週7回(週1はネイティブ)の英語の授業では40入学級を20人ずつの2クラスにグレード別に分け、鉄は熱いうちに打てという方針で中1からハードに鍛えています。数学も週5~6時間を確保し、チームティーチングを実施し、理解度に合わせて徹底指導を行っています。希望制の早朝学習や放課後講習など、たっぷり勉強させる環境を用意しています。その結果として、マチレベルの大学への合格実績は年々上昇しています。また、医学系の大学に進学する生徒も増えています。昨年度の高等部卒業生297名の大学合格実績は、国公立大に28名、早慶上智大に50名、東京理科大に17名、MARCHに175名でした。卒業生の78%が4年制大学に進学しています。浪人は20%です。指定校の数も年々増え、MARCHレベルが現在28名になりました。

今の校舎は古びていますが、4年後には新校舎が完成します。敷地がせまいので、3期に分けて校舎を順々に建て替えていくそうです。また、最新の設備を整えるために今まで3棟だった校舎が5棟に増えます。せまいグランドが更にせまくなってしまうようです。グランドがせまい割に部活動は盛んに行われています。中学生の95%が活動しています。野球部は大井海浜公園やジャイアンツ球場を借りて練習しています。

将来の夢に向かって志望する大学の学部が見えている生徒にとってはおすすめの学校です。しかし、勉強嫌いな子は多量の宿題に嫌気が差しそうです。中学校側も全力でフォローしますが、それでもクラスで2名程度はついていけなくなるそうです。勉強嫌いな子には絶対にすすめられない学校ですが、自分から勉強に向かっていける子にはとてもよい学校です。(山崎)

○高等学校

付属高校のメリット&デメリット

高校には大きく分けて進学校と付属校とがあります。

今回は付属校についてのメリットとデメリットをまとめておきます。

○付属校のメリット

- ・大学受験に縛られずに、授業を進められる。
- ・進学校よりも多くの科目を学習することで、幅広い知識が身につく。
- ・部活や課外活動などに思いっきり打ち込める。
- ・受験することなく大学に進学できる。
- ・友人関係が大学進学後もそのまま続く。
- ・高校3年間すべての成績が学部選択の際に考慮されることが多い。
→普段の勉強も気が抜けない

×デメリット

- ・学部を選ばなければ、勉強しなくてもよい。
→勉強も部活もやらない「空白の3年間」になることも。
- ・逆に、希望学部に進むためにはかなり熾烈な内部競争に打ち勝たねばならない。
(特にMARCHクラスの付属の場合)
→毎回のテストや提出物にかける意気込みはかなりのものとなる。その結果、学部を選べないと分かった生徒は高校を辞めてしまうこともある。
- ・系列大学に希望する学部がない場合がある。
- ・他大学受験を考えた場合のサポートは期待できない。
- ・年間の授業日数が公立より少ない場合がある(テスト休みや行事後の自宅学習など)。
- ・大学進学後も、付属からの狭い交友関係に落ち着いてしまう場合がある。

付属高校を選ぶというのは、中学卒業の段階で将来の選択肢をある程度絞りこんでしまうということです。それを考えずに「大学受験をしたくない(させたくない)から」という理由だけで付属校を選択するのは大きなリスクを負うことになります。早い段階で「自己責任」が求められるようになることを踏まえて、付属校は選択する必要があります。(菅野)

7月の予定表

*ウイング関係は中面をご覧下さい。

		飛鳥	ヘリオス	
日	曜	小学部	小学部	中学部
1	木			
2	金			
3	土	確認テスト(小5・6) Jジム 小4中入試模試(14:40~)		中3サタデージム(Sジム)
4	日	小5首都圏模試(会場)		
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土	確認テスト(小5・6) Jジム		中3サタデージム(Sジム)
11	日			
12	月		コンクール ↑	学力診断テスト ↑
13	火			
14	水			
15	木			
16	金		↓	↓
17	土	確認テスト(小5・6) Jジム		中3サタデージム(Sジム)
18	日	四谷合不合判定(小6)		
19	月		祝休	
20	火			
21	水	夏期講習スタート	夏期講習スタート	夏期講習スタート
22	木			
23	金			
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			
8/1	日			
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
備考		※各自の夏期講習の日程は同封の「夏期講習実施要項」をご覧ください。		

